

令和6年度第1回小金井市長期計画審議会 次第

日時 令和6年6月28日（金）午後2時00分から

場所 小金井市役所本庁舎3階第一会議室

- 1 諮問について
- 2 令和6年度施策評価について
- 3 グループワークについて
- 4 次回ヒアリングについて
- 5 その他

■配布資料

- 資料1 令和6年度長期計画審議会スケジュールについて
- 資料2 令和6年度施策評価シート
- 資料3 担当課一覧（施策）
- 資料4 関連計画一覧
- 資料5 担当委員一覧

資料 1

第 1 回長期計画審議会

令和 6 年 6 月 2 8 日

令和 6 年度長期計画審議会のスケジュールについて

日程		内容	
		令和6年度 施策評価	後期基本計画
第1回	6月28日(金) 14時～	・諮問について ・令和6年度施策評価について ・グループワークについて ・次回ヒアリングについて	
第2回	7月22日(月) ①10時～ ②14時～	・ヒアリングについて ・長期計画審議会コメントの検討について ・グループワークでの検討結果について	
第3回	8月23日(金) ①10時～ ②14時30分～	・令和6年度施策評価のまとめ(答申)	
第4回	12月下旬		(未定)

※第2回及び第3回は、①②のどちらかの時間で開催

政策 環境と都市基盤

第5次基本構想・前期基本計画
令和6年度 施策評価シート

施策 1 みどりと水の環境整備

【Plan】

目指す姿	美しく質の高いみどりと水を私たちみんなの力で適切に保全・活用し、豊かな自然と都市が調和した次世代に誇れるまち		
主担当課	環境政策課	関連課	農業委員会事務局、都市計画課、道路管理課、まちづくり推進課
関連計画	環境基本計画、みどりの基本計画、農業振興計画、都市計画マスタープラン、住宅マスタープラン		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【切れ目のない協働の仕組みづくり】（環境政策課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの参加が可能な花の植え替えイベントをむさこぶらっと公園において2回（29人・うち子ども16人）、栗山公園において2回（52人・うち子ども45人）、梶野公園において2回（47人・うち子ども24人）実施した。 ・環境美化サポーターとの意見交換会を1回、ワークショップを2回、交流会を1回、定例的な打合せを8回実施し、また他市視察も実施し、課題共有及び課題解決に向けた協議を実施した。 ・市報で環境特集号を発行し、環境美化サポーター制度の周知を図り、新たに2団体が登録した。 ・身近なみどりに興味を持ってもらうために、小金井第四小学校の児童に学校周辺の三楽公園や三楽の森緑地の樹木や植物をハナズミにし、身近な緑の大切さを学ぶ機会を提供した。 <p>【みどりと水の保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梶野公園まつりにおいて、ブルーベリーの苗木を100本配布し、民有地でのみどりを広げるきっかけを創出した。（環境政策課） ・生産緑地に市民農園の開設が可能になったことや生産緑地の賃借制度について、市内農地所有者に周知した。（農業委員会事務局） ・街路樹管理事業を実施した。（道路管理課） <p>【既存公園・緑地の新たな活用】（環境政策課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の整備・維持管理について、指定管理者を募集、選定した（応募2者）。 ・低未利用の2公園について、地域安全課にて防災倉庫用地として新たな活用を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりと水の環境整備では、行政だけが取り組んでも達成することができず、市、事業者、市民がそれぞれ主体的に協働して取り組む必要がある。 ・街路樹管理は、生育を見極めつつ交通の安全を確保する管理が必要である。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 みどりと水の環境整備に対する満足度（アンケート）	63.2%	80.0%	72.0%	69.6%	65.6%		
2 公園環境美化サポーターの登録者数	222人	280人	331人	311人	363人		

総括・自己評価

・保全緑地制度のうち、生け垣造成の補助要件及び保存生け垣の指定要件について、緑地保全対策審議会での審議を踏まえ、更なる緩和をすべく規則等を改正し、みどりの保全を着実に進めている。

・環境美化サポーターに新たに2団体の登録があり、目標登録者数を上回ることができた。今後も市報（環境特集号）等を通じて環境美化サポーター制度の周知を図り、市民協働による公園美化の推進を図っていく。

・市立公園に指定管理者制度を導入するに当たり、環境美化サポーターとの意見交換を例年以上に実施するとともに指定管理者が管理する東村山市を視察することにより、指定管理者の取組を共有し、各公園の課題解決の一助とし、団体間同士の交流も生まれている。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	環境美化サポーターと例年以上に意見交換するとともに、協働してイベントを実施することにより、みどりの保全が推進され、目指す姿の実現に向けた一定の成果を上げたと評価した。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

コメント	
------	--

【Action】

次年度の施策の方向性

・環境美化サポーターと関係構築を更に深めるため、先進的な取組をしている公園の視察、交流会、意見交換会及び養成講座を実施する。

・子どもが参加可能な花壇の植え替えイベントを梶野公園、むさこぶらっと公園及び栗山公園において、継続して実施する。

・市民に身近な市立公園の質の向上及び市民協働の深化を図るため、指定管理者側に配置された市民協働のコーディネート役を務める担当者とともに環境美化サポーターとの協議及びイベントを実施する。

・低未利用の公園について、ワークショップ等を開催して広く意見を聴き、防災倉庫用地以外の活用についても検討していく。

施策2 循環型社会の形成

【Plan】

目指す姿	私たちが一体となって3Rに取り組む、循環型都市「ごみゼロタウン小金井」		
主担当課	ごみ対策課	関連課	
関連計画	一般廃棄物処理基本計画		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【ごみ対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス削減の推進 ・リユースルートの構築と円滑な運用の促進 ・生ごみ資源化の施策の推進 ・施策や取組の「見える化」による効果的な啓発の強化 ・小・中学校を対象とした環境教育の推進 ・町会・自治会・子供会などの団体への環境学習の支援と推進 ・ごみゼロ化推進員の活動の支援と推進 ・事業系ごみの発生抑制の推進 ・市職員に対するごみ減量・分別の周知徹底 	<p>家庭系ごみの減量、資源化施策は順調に推移している一方、事業系ごみは地域経済の発展とともに増加傾向が強まっている。事業系ごみの搬入状況については定期的に検査を実施し、許可業者に対しては個別指導を実施しているが、排出元である市内事業所への立ち入り指導等、発生抑制に係るノウハウが不足しており、施策展開に至れていない。</p>

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 3Rに取り組んでいる市民の割合（アンケート）	86.3%	90.0%	91.5%	90.0%	91.2%		
2 市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	369g	355g	378g	363g	349g		

<p>総括・自己評価</p> <p>循環型社会の形成に向け、粗大ごみのリユース事業「ゆづる輪」の実施に加え、リユースプラットフォーム「おいくら」というネット型リユース事業を展開することにより、開庁時間に限らない市民サービスを提供するとともに、粗大ごみを中心とした発生抑制にも一定の効果を上げた。</p> <p>また、新たなリユース・資源化ルートの構築に向けて、東京都が実証実験を行った「多摩イノベーションエコシステム促進事業」「寝具等の再生素材化によるサーキュラー・エコノミー実現に向けた検証」や粗大ごみに含まれる衣装ケースの材料をリサイクルするための回収実験に協力する等、市民一人一日当たりの家庭系ごみ排出量の低減に効果が見込まれる施策検討を進めることができた。</p>
--

評価			
達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	指標2が、一般廃棄物処理基本計画の令和12年度目標値を達成しているため。

【Action】

<p>次年度の施策の方向性</p> <p>市民目線でのサービスの質の向上の観点から、粗大ごみオンライン申請の検討に着手するほか、新たなリユース・資源化ルートの検討、資源物の有価売買等、既存業務の見直し、改善を図る。</p>

政策 環境と都市基盤
施策3 環境保全の推進

第5次基本構想・前期基本計画
令和6年度 施策評価シート

【Plan】

目指す姿	私たち一人ひとりが自主・自律的に環境保全行動を実践し、エネルギー使用の抑制や環境負荷軽減などの地球温暖化対策を推進することによる、公害が少なく、環境にやさしいまち		
主担当課	環境政策課	関連課	
関連計画	環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<ul style="list-style-type: none">省エネチャレンジ事業を実施した。住宅用新エネルギー機器等普及促進補助事業を実施した。次世代自動車普及促進補助事業を実施した。環境啓発事業（環境フォーラム、野川環境フィールドワーク、環境楽習館を活用した環境講座（省エネ診断）等）を実施した。環境教育事業（小金井第四小学校5年生を対象に、地球温暖化対策講座、WSを実施）、森林教育事業（間伐体験、廃材となる予定であったテシャノキを活用したWS）、子ども環境WS（木材に関するWS、フォトフレーム作製等）等を実施した。公害関連の各種測定業務を実施した。	地球温暖化対策推進のためには、地球に住む私たち一人ひとりが自分事として意識し、行動に移すことが重要である。世界的な温暖化に伴い、気候が危機的な状況にあることを市民、事業者、行政等が共有し、地球温暖化対策に積極的に取り組む必要がある。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 省エネルギーに取り組んでいる市民の割合（アンケート）	70.1%	80.0%	75.0%	75.5%	77.2%		
2 小金井市公共施設の温室効果ガス総排出量	5,906 t	5,457 t	5,910 t	6,265 t	-		

総括・自己評価

住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金について、多くの家庭に利用していただいた結果、早期受付終了となるなど、本制度が広く周知され省エネに関する取組を推進することができた。

令和4年度から開始した次世代自動車普及促進補助事業についても多くの方に利用していただき、地球温暖化防止及び脱炭素社会の実現に向けた取組として成果を上げることができた。

環境教育事業、子ども環境WS（令和3年度開始）、森林教育事業（令和4年度開始）など主に小中学生を対象とした事業において、講義やWSを通して自ら積極的に取り組もうとする気持ち、姿勢を醸成することができた。形を変えながら事業を継続することで、毎年違ったアプローチ方法で生徒・児童に環境教育の場を提供することができている。

環境楽習館を活用した環境講座の一つとして、家庭・事業者を対象とした「省エネ診断講座」を実施し、ゼロカーボンシティ実現に向けた意識醸成を図ることができた。

評価			
達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	補助事業について、市報（環境特集号等）、市HP、X等の媒体や環境フォーラム等の事業で周知をすることで認知度を上げることができた。多くの市民に補助制度を利用していただくことで、地球温暖化防止対策に寄与することができた。また省エネチャレンジ、環境教育、森林教育、省エネ診断講座等の事業においても、未来を担う子ども達の森林保全の意識啓発につなげること及び市民意識の醸成を図ることができたため、一定の成果を上げることができたと評価した。

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

気候危機が一層深化する中、世界では2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロとする目標に向けて歩を進めている。本市としても「気候非常事態宣言」（令和4年1月1日）において、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指しており、SDGsの目指す持続可能な社会の実現に向けて各種取組を実施している。

特に地球温暖化対策を自らの問題としてとらえていただけるよう実施している「環境教育」については、引き続き意識改革の一助となるよう毎年異なったアプローチ方向で事業を展開・推進していく。

地球温暖化対策の推進については、一人ひとりが他人事ではなく、自分事として意識し、行動に繋げることが重要であるため、引き続き市民、事業者、行政等の意識啓発を推進していく。

政策 環境と都市基盤
施策4 市街地の整備

第5次基本構想・前期基本計画
令和6年度 施策評価シート

【Plan】

目指す姿	魅力的な市街地、まちの顔となる駅周辺の整備を進め、自然環境と利便性が高いレベルで調和した、快適で人にやさしいまち		
主担当課	都市計画課	関連課	まちづくり推進課、道路管理課、区画整理課
関連計画			

【Do】

令和5年度の主な取組
■宅地開発指導（同意協議の件数） ・開発事業 14件 中高層建築物等の建設事業 10件
■武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発事業 ・準備組合と地元組織が連携し、まちづくりの検討を行った。 ・「武蔵小金井駅北口のまちづくりの方針」を策定した。 ・「都市計画手続資料」を作成した。
■区画整理事業 ・仮換地指定に伴い、建物、工作物等の移転を行った。 ・整地及び道路築造工事を行った。 ・まちづくりニュースを発行することによって、地権者及び市民の事業に関する疑問や懸念を解消し、より一層の事業に対する理解を得るように努めた。
■道路の整備 ・主要地方道15号線の用地買収を行った。

課題
■武蔵小金井駅北口まちづくり ・再開発事業を円滑に遂行するためには周辺住民への理解が必要であるため、引き続きスピード感をもった取組を地元権利者等と一緒に進めていながら丁寧な対応が必要である。
■区画整理事業 ・道路築造費及び整地費等の工事費用の増額や損失補償費の増大、さらには地権者との交渉難航等による事業期間が延長することへの懸念がある。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 駅周辺などにおいて、小金井らしい魅力的な市街地が整備されていると感じる市民の割合（アンケート）	32.8%	50.0%	43.3%	40.6%	42.0%		
2 駅周辺整備の進捗率	69.4%	77.0%	71.6%	73.5%	74.0%		

総括・自己評価

魅力的な市街地の実現のため、まちづくり条例に基づき市民が主体となったまちづくりを推進し、まちの顔となる駅周辺の整備を推進するため、東小金井駅の北口土地区画整理事業の整備及び武蔵小金井駅の北口駅前東地区市街地再開発事業に取り組んでいる。

東小金井駅の北口土地区画整理事業は、計画的な都市基盤整備や土地の有効利用等を図り、本市の東部地区の地域中心核としてふさわしい魅力ある市街地環境を創出することを目指し平成12年度から事業を進めており、終盤に至っているが、一部の地権者との交渉難航や工事費等の増大といった懸念材料も残されている。

武蔵小金井駅北口については、令和5年度に「武蔵小金井駅北口のまちづくりの方針」を策定し、武蔵小金井駅北口のまちづくりの将来像を示し、令和6年度に都市計画決定ができるように調整している。

令和5年度は、区画整理事業が進捗し駅周辺整備が進むとともに、小金井らしい魅力的な市街地が整備されていると感じる市民の割合についても増加した。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	目指す姿に向けて、指標の数値が伸びているため一定の成果を上げたと評価した。
-------	--------------	----	---------------------------------------

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

- ・武蔵小金井駅北口駅前東地区再開発事業に係る都市計画決定及び変更を進めていく。
- ・地権者及び市民の事業に関する疑問や不安を軽減するため、より一層理解を得るように努めていく。
- ・無電柱化推進計画に基づく市道第136号線の整備。

施策5 住環境の整備

【Plan】

目指す姿	宅地内の緑化推進、良質な住宅の供給、施設の耐震化や長寿命化、バリアフリー化の推進などによる、自然と調和した、安全かつ快適で住み心地の良いまち		
主担当課	まちづくり推進課	関連課	環境政策課、都市計画課、経済課、地域安全課、庶務課、道路管理課、交通対策課、介護福祉課、自立生活支援課、下水道課
関連計画	住宅マスタープラン、耐震改修促進計画、公共下水道プラン		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【経済課】</p> <ul style="list-style-type: none">・未来に残す東京の農地プロジェクト補助金事業を実施 <p>【環境政策課】</p> <ul style="list-style-type: none">・住宅用新エネルギー機器等普及促進補助事業を実施 <p>【介護福祉課】</p> <p>高齢者のいる世帯に対し、転倒予防、動作の容易性の確保（痛みの軽減）、行動範囲の拡大の確保、介護の軽減の効果を確保するため、その者の居住する住宅の改修費用の一部を給付し、在宅での生活の質の確保を図る。</p> <p>【自立生活支援課】</p> <ul style="list-style-type: none">・日常生活用具費給付事業（住宅改修費）を実施・住宅入居等支援事業を実施 <p>【下水道課】</p> <ul style="list-style-type: none">・新築建物へ雨水浸透ます設置を促進・雨水浸透施設等設置助成事業を実施 <p>【道路管理課】</p> <ul style="list-style-type: none">・街路樹管理事業を実施 <p>【交通対策課】</p> <ul style="list-style-type: none">・街路灯維持管理事業を実施 <p>【まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none">・木造住宅耐震化助成事業を実施・特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化助成事業を実施・マンション適正管理促進事業を実施	<p>【経済課】</p> <ul style="list-style-type: none">・生産緑地法上では設置できる農業用施設を設置した場合に、相続税納税猶予制度の適用を受けられないことがある等、国の農地関連施策と税制度で不整合が生じている。・都市における農地は、相続によって宅地化されるケースが大半である。相続時に市が農地を取得するための仕組みはあるものの、多額の財源を要するため困難な状況である。そのため、現在、農地を所有している世代に対する農地保全に資する取組を実施しているが、根本的な解決には至っていない。 <p>【介護福祉課】</p> <p>住宅改修の申込手続きは複雑であり、高齢者が自らが行う場合、困難を伴うことが多い。他事業の住宅改修相談や地域包括支援センターでの相談受付を強化し、希望する方が住宅改修をすることができるよう、連携を強化していく必要がある。</p> <p>【下水道課】</p> <ul style="list-style-type: none">・助成の申請件数が年々減ってきているため、引き続き助成制度のPRを行っていく必要がある。 <p>【道路管理課】</p> <ul style="list-style-type: none">・生育状況を見極めた管理が必要となる。 <p>【まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none">・木造住宅耐震化助成事業における助成件数を増加させるためには、事業の周知だけでなく他自治体の動向も注視し、制度の見直しを精査することが必要である。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 自然と調和した快適で安全な住環境が整備されているとを感じる市民の割合（アンケート）	52.3%	70.0%	65.2%	65.7%	63.3%		
2 市内の住宅の耐震化率	93.0%	耐震性が不十分な住宅を概ね解消	94.0%	94.5%	95.0%		
3 管理状況の届出を行った要届出マンションの割合	—	80.0%	79.2%	83.0%	87.2%		
4 住宅用新エネルギー機器等普及促進の達成率	7.5%	11.6%	8.7%	9.4%	10.0%		
5 高齢者自立支援住宅改修給付の到達率	93.0%	100.0%	94.7%	89.6%	90.4%		

総括・自己評価

【総括】指標1を除き、前年度と比して指標における実績の数値は上昇した。今後も現状の課題を検討し、目標達成に向けた取組を実施していく。指標3については令和4年度時点で目標を達成しており、令和5年度では更に割合が増加していることから、取組により一定の成果を上げることができた。

【自己評価】一部の助成事業は利用率が順調に伸びていることから、周知が行き届いていると考えている。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	指標の数値が伸びているため、目指す姿の実現に向けて一定の成果を上げた」と評価した。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性

今後も市民への周知、情報発信の方法、東京都の施策の紹介などにより、市民生活の向上のため、引き続き事業を推進していく。

施策6 都市インフラの整備

【Plan】

目指す姿	利便性の高い道路ネットワークの構築と災害に強い安全で安心な都市基盤を整備し、適切に維持管理していく快適なまち		
主担当課	道路管理課	関連課	都市計画課、下水道課
関連計画	無電柱化推進計画、橋りょう長寿命化計画、都市計画マスタープラン、下水道総合計画、ストックマネジメント計画		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【道路管理課】</p> <p>・橋りょうの長寿命化事業において、橋りょうの補修工事（いちご橋）を実施</p> <p>・電線共同溝設置工事（市道第12号線）を実施</p> <p>【都市計画課】</p> <p>・都市計画道路の拡幅整備事業</p> <p>【下水道課】</p> <p>・下水道施設の点検・調査、工事設計、工事等を実施</p>	<p>・令和4年4月に改訂した無電柱化推進計画に基づき電線共同溝整備推進事業を進めているが、進捗が遅れているため、今後、計画的に事業を進める必要がある。</p> <p>・都市計画道路3・4・1号線は事業の理解を得られていない地権者がおり、用地取得が難航している。</p> <p>・都市計画道路3・4・8号線は計画的な用地取得が課題である。</p> <p>・下水道設備における施設更新のための事業費の増加が見込まれる。</p>

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 市内の道路が快適に通行できていると感じる市民の割合（アンケート）	32.9%	50.0%	40.6%	36.0%	37.5%		
2 市内の道路が適切に管理されていると感じる市民の割合（アンケート）	35.6%	50.0%	43.5%	40.8%	40.1%		
3 無電柱化推進計画に基づく進捗率	0.6%	1.8%	1.0%	1.1%	1.1%		

総括・自己評価

令和5年度は橋りょうの長寿命化計画に基づき、いちご橋の補修工事を行い、安全に通行できる環境を整備できた。アンケート結果において、市内の道路が快適に通行できると感じる市民の割合は長期的視点で捉えると少しずつ上がってきており、都市計画道路の整備が進んでいることや市民等からの通報等に迅速に対応していることも要因と考えられる。

なお、道路が適切に管理されていると感じる市民の割合は下がっており、今後も引き続き、市民等からの通報や要望には迅速に対応するとともに、パトロール等を実施しながら、限られた予算の中で適切な維持管理に努めていきたい。また、主に市報まちづくり特集号を通じて市の取組を周知し、事業の進捗状況等を市民に共有していく。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	橋りょうの補修工事や無電柱化事業を実施しており、既存インフラの維持管理を進めていることから、一定の成果が上がっていると評価した。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・橋りょうの長寿命化計画や無電柱化推進計画に基づき、事業を進めていく。 ・都市計画道路の拡幅整備のため、住民の理解を得て事業を進めていく。 ・下水道事業では、経営戦略改訂版を基に長期的な財政見直し、使用料・事務事業の定期的な分析をして経営基盤を強化し、下水道施設の適切な更新、維持管理を図っていく。
------------	---

施策7 交通環境の整備

【Plan】

目指す姿	円滑で利便性の高い移動手段を構築し、通行上の安全性を確保することにより、安全かつ快適に人が行き交うまち		
主担当課	交通対策課	関連課	まちづくり推進課、区画整理課
関連計画	交通安全計画、「C○C○バス」再編計画		

【Do】

令和5年度主な取組	課題
<p>【交通対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全推進事業 看板の設置や道路反射鏡の補修、通学路点検、交通安全運動による啓発、自転車用ヘルメット購入助成を実施 放置自転車対策事業 放置自転車の撤去、自転車駐車場附置の指導等 公共交通 令和5年4月に「C○C○バス」再編計画に基づく運行を開始、同年6月地域公共交通活性化協議会を設置 <p>【区画整理課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業の継続した実施 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設について、全体的に老朽化が進んでいる。自転車用ヘルメット着用率は依然として低い水準に留まっている。 自転車駐車場について、現時点で放置自転車が増えているということはないが、特に東小金井駅前への整備を希望する声強い。 公共交通について、C○C○バスは持続可能な運行のため、ルートの一部変更及び運賃の見直しを行った初年度であり、他自治体においては定着化するまで2～3年要した事例もあることから動向を注視していく必要がある。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 市内を安全に移動できていると感じる市民の割合（アンケート）	49.2%	60.0%	55.9%	50.4%	50.3%		
2 市内の交通手段における利便性への満足度（アンケート）	46.7%	70.0%	55.1%	50.6%	47.5%		
3 交通事故死傷者数	173人	121人	174人	196人	232人		

<p>総括・自己評価</p> <p>C○C○バス再編により、運賃が上がり、ルートも一部変更となったこと等から利便性への満足度が低下したものと考えている。バスやタクシーの運転手不足や燃料費高騰が社会問題となっている中、幅広い関係者を交えた協議会を設立し、今後の公共交通の在り方についての計画を策定するための検討を開始した。</p> <p>交通事故死傷者数が大きく増加しているが、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されたことで人の流れが戻ってきたことも要因と考える。事故の内訳としては自転車関連事故が増えており、ヘルメットによる重傷事故抑制も引き続き実施するが、キックボード等の新たなモビリティも含め、事故件数を減少させるような普及啓発充実を検討する。</p>
--

<p>評価</p> <p>達成度合い 一部の成果が上がっている</p> <p>理由 指標の数値は下がっているものの、公共交通及び交通安全事業において新規に着手した事業もあり着実に進捗しているため。</p>

<p>長期計画審議会コメント</p>

【Action】

<p>次年度の施策の方向性</p> <p>地方のみならず都心部でもバスの減便等の報道が増えており大変厳しい情勢であるが、公共交通の社会的役割を踏まえ、持続可能な公共交通ネットワークを維持・向上できるよう協議を進めていく。</p> <p>自転車の交通違反が全国的に社会問題となっており、交通ルールやマナーについて徹底されるよう、交通管理者である警察とも連携し普及啓発等に努める。</p>

施策8 危機管理体制の構築

【Plan】

目指す姿	私たち一人ひとりが災害や感染症などに備え、互いに助け合うことのできる「人の輪」をつなげる、様々な危機に強いまち		
主担当課	地域安全課	関連課	介護福祉課、指導室、まちづくり推進課、地域福祉課、健康課
関連計画	地域防災計画		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【地域安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練／総合水防訓練の実施 ・NPO法人連絡会と連携した協働講演会を実施 自主防災組織への補助金事業の実施 災害対策用備蓄食料等の購入 災害時応援協定の締結（3件） 備蓄倉庫（避難所14か所）の棚卸、整理 消防団員の保安帽更新、ジェットシューターの購入及び第4分団への配置 <p>【まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ブロック塀等撤去助成事業 木造住宅耐震改修等助成事業 <p>【健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小金井市医療初動マニュアルの改訂 	<ul style="list-style-type: none"> 自助（市民一人ひとりの防災知識の習得及び防災意識の醸成）と共助（地域の繋がり）の強化及び地域防災力の向上。 公助の強化に向けた、市の備蓄及び民間団体等との災害時応援協定の推進。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 まち全体で災害などへの備えができていると感じる市民の割合（アンケート）	17.0%	30.0%	21.3%	21.3%	20.4%		
2 災害などのための備蓄を行っている市民の割合（アンケート）	57.1%	70.0%	60.2%	59.4%	61.7%		
3 直近1年間で防災訓練に参加したことがある市民の割合（アンケート）	21.0%	30.0%	11.9%	10.8%	13.9%		

総括・自己評価

指標1・2について、当初の水準から微増しているものの、目標値の達成に向け、防災訓練等の実施や広報等によるさらなる普及啓発により、自助・共助の強化を図る必要がある。一方で、**「災害に備えたゆるやかな連携」をテーマとした協働講演会をNPO法人連絡会との連携により開催したことで、地域の「人の輪」を繋ぐ一助となったと考える。**公助の面では、備蓄品の購入や備蓄倉庫の整備による備蓄の推進や消防団用資機材の充実等、引き続き一定の成果があった。

指標3について、市民参加型の総合防災訓練を東京農工大学で実施し、**訓練内容の充実及び広報の見直しを行った結果、当日参加者数が昨年度よりも増加したことから、一定の効果があったと考えるが、次年度以降も引き続き参加促進に向けて新たな企画や広報等、検討が必要である。**

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	市民の防災意識の向上に向けて更なる取組が必要であるが、総合防災訓練などの参加型訓練を実施することができたため、一部の成果が上がったと評価した。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

引き続き、実災害を踏まえた他自治体の取組等の情報を多く取り入れるとともに、**防災イベントに限らず様々な視点からのアプローチを検討し、目指す姿の形作りを推進していく。**

施策9 地域の安全・安心の向上

【Plan】

目指す姿	防犯意識の向上、犯罪や消費者被害の未然防止などの推進、関係機関との防犯協力体制の構築により、安全で安心して暮らすことができるまち		
主担当課	地域安全課	関連課	経済課、資産税課、環境政策課、ごみ対策課、健康課、まちづくり推進課、道路管理課、交通対策課
関連計画			

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【地域安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者に自動通話録音機の貸出を実施（116台） 防犯活動を実施する団体等に防犯資機材を支給（12団体、合計299個） <p>【経済課】</p> <p>消費者被害を未然に防止することを目的に、講座を回実施（高齢者向け12回、若年層向け5回、全世代向け1回。消費者講座講師謝礼決算額125,400円。参加者数1,622人）。</p> <p>【まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住まいのなんでも相談会を開催 	<p>【施策全体の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り込め詐欺や消費者被害の手口が巧妙化し、被害に遭う市民が一定数存在すること。 <p>【事業の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯資機材の支給及び防犯設備整備事業補助金について、今年度は増加したが、さらなる広報の工夫により認知されることが必要である。 消費者教育が実施できていない学校があること。 高齢者の消費者被害が多い一方で、外出の機会の多い活発な高齢者が啓発活動の対象となりがちであること。 若年層と高齢者層に啓発活動を行っているが、中間世代向けの事業が手薄となっていること。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 犯罪などに対する取組や地域の体制に安全・安心を感じる市民の割合（アンケート）	31.4%	50.0%	42.3%	40.0%	40.7%		
2 犯罪発生件数	758件	600件	497件	553件	568件		
3 消費者啓発事業への参加人数	2,691人	3,000人	1,285人	2,405人	1,622人		

総括・自己評価

指標1について、安全・安心を感じる市民の割合が微増しており、自動通話録音機の貸与、消費者講座及び住まいのなんでも相談会の開催等により、不安を感じる人を減少させることができたと考えられる。

指標2について、昨年より上昇しているが目標は達成している。内訳を見ると、詐欺の発生件数については若干減少しており、本施策で取り組んでいる詐欺及び消費者被害対策については一定の効果があったものとする。

指標3は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更された影響で、学校のカリキュラムや活動が活発になったことにより、若年層向けの消費者講座の実施を断られてしまう件数が増え、昨年度より減少した。また、目標値にも達していないことから、目指すべき安全・安心なまちに近づくためにより一層の取組が必要である。

なお、消費生活相談の件数や内容、年齢別内訳等をまとめた消費生活相談事例集を作成しており、市のホームページに掲載したり、消費者講座で配布したりすることで、啓発に努めている。

また、市報や市ホームページ等の広報により、昨年度より多くの防犯活動を実施する団体等に防犯資機材を支給することができた。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	啓発事業や自動通話録音機の貸出等により、目指す姿実現に向けた一定の成果を上げたと考えられる。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

詐欺及び消費者被害対策を継続して行うほか、地域における見守り活動の促進や、**関係機関からの情報をもとに最新の犯罪事例と対策などを含めた防犯に関する広報・啓発を行うこと**で、市全体の防犯力の強化をはかり、市民がより安心感を得られるまちづくりを推進していく。

施策10 産業・観光の振興

【Plan】

目指す姿	多様で豊かな市民力あふれる生活都市にふさわしい産業・観光の創出・育成に継続的に取り組み、地域の付加価値を高める、ふれあいと活力のあるまち		
主担当課	経済課	関連課	まちづくり推進課、区画整理課、自立生活支援課、高齢福祉担当、男女共同参画室、子育て支援課、地域福祉課
関連計画	産業振興プラン		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【経済課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■商工会及び観光まちおこし協会への補助事業 ■地域振興事業 ■オープンスペース活用の担い手育成事業 <p>【高齢福祉担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小金井市シルバー人材センター事業費補助（高齢者の就業機会の増大、活力ある地域社会づくり） ■小金井市シルバー人材センター事業に係る広報活動への協力 <p>【男女共同参画室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■女性のための再就職支援講座を実施。 <p>【自立生活支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■就労を希望する障がいのある人の就労支援を実施（小金井市障害者就労支援センター） <p>【区画整理課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■土地区画整理事業の実施 ■まちづくりニュースを発行 	<p>【経済課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■イベント実施の減少 <p>【高齢福祉担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■シルバー人材センターの会員数の継続的な減少。 ■補助金に依存することなく、独自の収益によりセンターの運営ができるよう経営体力を付けることが必要。 <p>【男女共同参画室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■周知方法の検討 <p>【区画整理課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地権者との交渉難航等による事業期間が延伸することへの懸念がある。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 うちに活気があると感じる市民の割合（アンケート）	32.2%	40.0%	41.6%	44.2%	41.7%		
2 年間小売販売額	860億1,400万円	維持	2,692億2,200万円	—	—		
3 滞在人口率	0.86倍	0.90倍	—	0.87倍	—		

総括・自己評価

指標1は、うちに活気があると感じる市民の割合がコロナ禍前の日常に戻ってきており、お祭りなどのイベントもコロナ禍前と同様に実施されてきていることから、目標を上回っていることは評価できる。しかしながら、昨年度実績と比較すると減少していることから、各施策において改善の余地があると考えている。

指標2は、令和2年度以降コロナ禍における臨時交付金給付事業、キャッシュレス決済普及事業及び物価高騰における燃料費の補助等の取組を実施してきたが、今後も継続的に実施できる取組ではないことから、年間小売販売額にどのように影響がでてくるか、将来的に不透明である。

なお、指標の根拠である経済センサスは、令和3年度実績が昨年度の調査以降に掲載されたが、純粋な販売額ではなく給付金等の収入が含まれていることが想定され、当初と比較すると3倍の金額になっており、参考にならない。

指標3は、2020年の国勢調査の結果を基に滞在人口の推移を算出しており、令和4年度実績の数値まで公表されている。

指標2及び指標3については、国が公表している数値を根拠としていることから、公表までに年単位でのタイムラグがあり、市の評価にあたって、直近の数値が公表されないため、後期基本計画では指標を見直す必要がある。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	目標を上回る結果となっていることから、目指す姿実現に向け、効果を上げてきていると評価できる。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

通常事業やイベント等がコロナ禍前と同様に実施されてきているが、例年どおりのにぎわいの創出を行うのではなく、より多くの人々が市を訪れたり、参加したりするため、従前の取組に一工夫を加える等、より一層のまちのにぎわいの創出を画策していく。

コロナ禍においてもにぎわいを創出するために実施してきた地域密着イベントである道草市が実行委員会等により、自主的に開催するに至っている状況を踏まえ、令和5年度から開始したオープンスペースの活用を担っていける人材育成事業を引き続き実施していく。

施策 1 1 都市農業の振興

【Plan】

目指す姿	多面的機能を持つ農地の適正な保全を図り、有効活用することにより、都市と農地が共存し、市民生活を豊かにするまち		
主担当課	経済課	関連課	農業委員会事務局、環境政策課、都市計画課、まちづくり推進課、介護福祉課
関連計画	農業振興計画		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【担い手の確保・育成と力強い農業経営の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定・認証農業者支援事業 ・援農ボランティア養成講座 ・新規就農者に対する支援環境の整備（都市農地貸借や販路等に係る支援、認定新規就農者支援事業） <p>【多面的機能をいかした農地保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来に残す東京の農地プロジェクト補助金 ・みどり第3市民農園（50区画）の整備 <p>【持続可能な農業経営の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食への市内産農産物活用に関する支援（学校給食への市内産農産物利用促進に向けた補助制度を創設） <p>【小金井農業の魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小金井市農業振興連合会補助金（立毛品評会、農業絵画コンクール、学童収穫体験等の実施） ・商・農・観光分野の連携によるこがねい産業祭りの開催 ・JA・市観光まちおこし協会等が開催する農業関連イベント（農家交流会、道草市、わくわく農園感謝祭、まるん食堂等）の支援 	<p>【担い手の確保・育成と力強い農業経営の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者が年々減っており、後継者や新規就農者等に対する支援環境の整備が必要である。 <p>【多面的機能をいかした農地保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や農地保全への対応、限られた農地の有効活用、都市農業の多面的機能を通じた市民の農業への理解の醸成が必要である。 ・都市農地の貸借制度を活用することにより、後継者の他、新規就農者や農業分野外の団体等の参画も見込まれる中、農地のマッチング等の仕組みが整っていない。 <p>【持続可能な農業経営の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズと各農業者の経営に合った流通やネットワークの構築（ICTの活用含む）。 ・農産物の高付加価値化、6次産業化の推進。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 これまでに小金井市産農産物を購入したことがある市民の割合（アンケート）	78.1%	80.0%	71.8%	75.1%	73.1%		
2 農業産出額	3.3億円	4.0億円	3.1億円	3.0億円	—		
3 農業振興計画の達成率	70.6%	80.0%	72.5%	75.0%	76.6%		

<p>総括・自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内産農産物を使用した料理教室や各種収穫体験イベント、商・農・観光分野の連携による産業祭り、わくわく都民農園小金井での取組など、農業関連イベント等の開催数は増加しており、また、新たな市民農園を整備する等、各団体と連携しながら市民が「農」に触れる機会を増やすとともに、小金井農業の魅力発信を着実に進めている。 ・様々な分野と連携した各種農業関連イベントは、市内産農産物の魅力をアピールする機会であるとともに、市内農業者のファンづくりの機会となっており、継続的な購入等、市内農業者の支援に資する取組となっている。 ・学校給食への市内産農産物の利用促進に向けた補助制度を創設し、JA・農業者・学校栄養士等と連携しながら更なる産地消費の推進を図っている。
--

評価	
達成度合い	<p>一定の成果が上がっている</p> <p>理由 各種取組を通して、市内における様々な主体との連携を深めており、目指す姿実現に向け、一定の成果を上げた」と評価した。</p>

<p>長期計画審議会コメント</p>

【Action】

<p>次年度の施策の方向性</p> <p>令和3年度に策定した農業振興計画（令和4～12年度）に掲げる“「魅力」「豊かさ」「笑顔」溢れる都市農業のまち 小金井”を「農」に関わる様々な主体が目指すべき方向性として共有し、引き続き農業振興施策を展開していく。</p>
--

施策12 子どもの育ちの支援

【Plan】

目指す姿	子どもの権利を保障し、安心して過ごせる居場所や様々な体験の機会を提供することで、生まれ育つ環境に左右されず、全ての子どもがいきいきと健やかに安心して暮らせるまち		
主担当課	児童青少年課	関連課	生涯学習課、コミュニティ文化課、環境政策課、指導室、子ども家庭支援センター、子育て支援課、企画政策課
関連計画	のびゆくこどもプラン 小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）、第3次明日の小金井教育プラン		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【子どもの居場所の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室事業の実施（生涯学習課） ・子どもの居場所を運営する団体に対する補助及び全補助対象団体が実施する事業の現地見学及び要望等の聞き取りを実施（子育て支援課） ・児童館事業の実施（児童青少年課） <p>【豊かな体験や仲間づくりの支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども向け体験事業の実施（各課） <p>【子どもの権利の保障】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもオンブズパーソン相談室の運営（児童青少年課） ・子どもに関する相談事業の実施（各課） ・虐待対応事業の実施（子ども家庭支援センター） ・<u>子どもの権利に関する子ども向けホームページの公開、小学校における出前授業の実施（児童青少年課）</u> 【子どもの社会参画と意思の尊重】 ・「<u>小金井を変えちやう人の会</u>」の開催（児童青少年課） ・<u>みんなの公園会議の開催（環境政策課）</u> ・子どもの意見表明やボランティア活動の場の提供（各課） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生の居場所については、世代特有のニーズをとらえた居場所づくりについて検討が必要。 ・子どもの社会参加や意見反映の機会を増やすとともに、そこに参加する子どもをいかに増やすかということについても検討が必要。 ・<u>子どもオンブズパーソン相談室の更なる認知向上のための取り組みの検討が必要。</u> ・「<u>小金井を変えちやう人の会</u>」の今後について、<u>子ども自身が主体的になって決定していくための手法について検討が必要。</u> ・<u>庁内外における子どもの意見聴取の手法や事例についての情報提供を充実させていくことが必要。</u>

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 子どもが育ちやすい環境だと思える市民の割合（アンケート）	62.6%	80.0%	71.2%	68.7%	63.7%		
2 自分には良いところがあると思う小学生の割合（全国学力・学習状況調査／文部科学省）	85.8%	100.0%	78.5%	86.4%	83.4%		
3 自分には良いところがあると思う中学生の割合（全国学力・学習状況調査／文部科学省）	71.0%	75.0%	74.5%	78.8%	82.9%		

総括・自己評価

指標1は前年度の実績よりもさらに減少し、目標値に対する乖離がさらに大きくなった。本施策に掲げる以外の要因も指標に影響していると思われるが、目標を達成するためには、子どもの居場所や体験活動を充実していくことが必要である。指標の減少要因は「のびゆくこどもプラン 小金井」の改定にあたり、令和5年度に実施したニーズ調査の結果等を参考に分析していく。

指標2は当初値よりも割合が減少した。目標値達成のためには、子どもがその存在を認められることや子ども自身が主体的に取り組む体験を増やすことが必要である。そういった機会を増やすとともに、更なる事業の周知及び参加者を増やすための取組が必要である。

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	「のびゆくこどもプラン 小金井」に基づき各種事業を実施しているものの、指標1がさらに減少していることから、課題や改善の余地があるためこの評価とした。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

- ・子ども・子育て会議における意見や検討結果を踏まえて、子どもの居場所の充実や事業改善に取り組んでいく。
- ・子どもオンブズパーソン相談室や子ども向けホームページ等の周知を継続していくとともに、小学校に加えて中学校での出前授業の拡大等、子どもの権利に関する啓発活動を継続していく。
- ・児童館や学校等を中心に、子どもの意見を聞く機会や表明できる機会を増やしていく。

施策13 子育て家庭の支援

【Plan】

目指す姿	子育て家庭を支える施設、体制を確保し、様々なニーズに応じた支援を行うとともに、特別な配慮を要する家庭にも、きめ細やかな支援を推進することで、家庭が安らぎと笑顔に満ち、子育ての楽しさ、喜びを実感できるまち		
主担当課	子育て支援課	関連課	保育課、児童青少年課、自立生活支援課、健康課、指導室
関連計画	のびゆくこどもプラン 小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【子育て支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て総合相談を実施 義務教育就学児医療費助成制度について、高校生も入れて制度を拡充 ひとり親家庭へのホームヘルプサービス派遣を実施 子育て中の保護者グループ相談を実施 子育て情報の提供を実施 こども家庭センター化に向けた準備・調整 <p>【保育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設等利用給付の上乗せ（幼稚園）を実施 施設等利用給付の上乗せ（認可外保育施設）を実施 認可保育所での特別支援保育を実施 <p>【児童青少年課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学童保育所での障がい児保育を実施 <p>【健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子保健健康相談事業を実施 産後ケア事業を実施 こども家庭センター化に向けた準備 <p>【自立生活支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小金井市児童発達支援センターきらりにおいて相談支援事業を実施 医療的ケア児コーディネート事業を実施 	<p>妊婦期から子育て期まで、切れ目なくライフステージを通じた医療・保健・福祉・保育・教育の緊密な連携の確保とネットワークを充実していくことが必要。</p>

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 子育て家庭への支援が充実していると思う市民の割合（アンケート）	24.6%	50.0%	31.0%	28.5%	28.1%		
2 妊娠、出産、子育ての不安や悩みを周囲の人々や行政の窓口で相談しやすい地域であると思う市民の割合（アンケート）	19.8%	40.0%	27.6%	24.5%	23.8%		

総括・自己評価

・指標1及び指標2については、当初に比べて上昇しているものの、前年度からは減少している。指標1は物価高による子育て家庭への影響、指標2は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更された後もコロナ禍前までには戻っていないことが要因ではないかと考えている。

・令和4年6月に成立した改正児童福祉法において、児童福祉機能と母子保健機能を統合した「こども家庭センター」の設置が市町村の努力義務とされたことを受け、令和5年度中に両機能の組織統合及び妊婦期から子育て期に係る一体的な相談体制の確立に向けた準備・調整を進め、令和6年4月1日付で小金井市こども家庭センターを設置した。

達成度合い	見込んだ成果が 上がっていない	理由	前年度に比べて指標の数値が減少したため、この評価とした。
-------	--------------------	----	------------------------------

【Action】

次年度の施策の方向性	<p>のびゆくこどもプラン 小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）で掲げる重点事業（義務教育就学児医療費助成制度の拡充や子育て情報の提供）を中心に引き続き取り組んでいく。また、母子保健と子育て支援を一体的に行うこども家庭センターを設置するとともに、出産・子育て応援事業や所得制限なく高校生年代までの医療費助成事業を実施し、子育て家庭の支援に努める。</p>
------------	--

施策14 子育て・子育て環境の充実

【Plan】

目指す姿	次世代の小金井市民を育てていくための地域環境を整備することによって、地域の様々な人々の関わりにより、安心して、楽しく、豊かな子育て・子育てができるまち		
主担当課	子育て支援課	関連課	保育課、児童青少年課、コミュニティ文化課、指導室、生涯学習課、公民館
関連計画	のびゆくこどもプラン 小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【子育て支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て・子育て支援ネットワーク協議会の運営（加入団体数：119団体（令和6年3月末日現在）） 【児童青少年課】 ・「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2023小金井開催時に、子ども主体の活動を行う団体を紹介するポスターセッションを実施 <p>【各課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが参加できる行事の促進を実施 	<p><u>子どもの意見聴取の方法といただいた子どもの意見に係る事業への反映が求められている。</u></p>

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 地域における子育て・子育て環境が充実していると思う市民の割合（アンケート）	29.5%	50.0%	36.2%	32.5%	33.8%		
2 地域で子どもに関係するイベント、交流、支援活動が活発に行われていると思う市民の割合（アンケート）	32.2%	60.0%	33.0%	36.6%	35.2%		

総括・自己評価

いずれの指標も当初に比べて増加しているものの、昨年度に比べると指標1については増加したが、指標2については減少した。今年度は「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2023小金井の開催時に子ども主体の活動を行う団体を紹介するポスターセッションを実施し、地域における子育て・子育て環境のPRに努めたが、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されたことを踏まえ、地域での活動自体は徐々に再開されているものの、目に見えた全体的な充実にはつながっていないことが原因と考える。

なお、「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2023小金井の開催に当たっては、昨年度に審議会から御意見いただいた大学等の場所の検討も行ったが、受験シーズンと重なったため、実際の活用はできなかったが、子育て支援ネットワークの活動として、市内の大学を活用した。

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	前年度に比べて一つの指標が増加し、一つの指標が減少したためこの評価とした。
-------	--------------	----	---------------------------------------

【Action】

次年度の施策の方向性

のびゆくこどもプラン 小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）で掲げる重点事業（子育て・子育て支援ネットワーク協議会への参加団体増や、子どもに配慮した公共施設の改修、特に市立公園におけるインクルーシブデザインに配慮した遊具の設置検討）を中心に引き続き取り組み、子どもの意見を聴きながら、子育て・子育て環境の充実に努めていく。

施策15 学校教育の充実

【Plan】

目指す姿	一人ひとりの子どもが未来を創造する当事者として、活発な好奇心を持ち、創造的な課題発見・解決力を身に付けるとともに、健康で人間性豊かに育つための学校教育が充実しているまち		
主担当課	指導室	関連課	学務課
関連計画	第3次明日の小金井教育プラン		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【指導室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校施策を多面的に展開 → もくせい教室の活動充実、仮想空間の実証研究協力 ・教員働き方改革の推進 → 校長会研修、副校長補佐等の配置、部活動指導員増員 ・環境教育の充実 → 浅川清流可燃ごみ処理施設見学、ハチドリプロジェクトキャラクター作成 ・コミュニティ・スクール化の促進 → 学校運営協議会の全校設置、委員研修会の実施 ・体験活動の充実 → 清里での森林体験実施、海の移動教室の在り方の見直し <p>【学務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きめ細やかな相談を保護者向けに展開 → 要件に当てはめる説明型から納得感重視型へ ・就学後にも寄り添った相談業務を展開 → 就学先決定後の悩みにも耳を傾ける伴走型相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を経て、社会的価値観が多様化し、より個別の子どもに焦点を当てた事業展開が求められるようになってきている。集団での教育活動が基本となる学校教育にあって、個別最適化された教育とうまく両立させるには、教員のスキル・知見の高度化はもちろん、教育委員会としても、多くの事業を同時並行で稼働させるだけの予算や人的資源を必要とする。 ・教員志望者が少なくなっている。勤務地区公募制が広がるなか、指導力の高い教員に小金井市立学校での勤務を長く続けてもらうためにも、教員の働き方の改善は、喫緊の課題となっている。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 学校が楽しいと思う児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査／文部科学省）	小学校 85.6% 中学校 75.4%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	小学校 85.1% 中学校 80.3%	小学校 85.5% 中学校 82.7%	小学校 87.1% 中学校 84.4%		
2 授業が分かると回答した児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査／文部科学省）	小学校 87.3% 中学校 72.7%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	小学校 88.2% 中学校 79.1%	小学校 86.4% 中学校 82.5%	小学校 84.5% 中学校 79.5%		

総括・自己評価

学校が楽しいと思う児童生徒の割合が年々高まっている。本市の教育スローガン「笑顔いっぱい、わくわくいっぱい」の実現に向けて、「一人一人を大切に作る空気」が広がるように、ここ数年、**様々な属性の子どもを想定した施策を学校家庭連携事業及び校内別室指導その他多数展開**してきた。一人一人のそのらしさが発揮された学校となって、**すべての子どもに学校を楽しんでもらえるように、学校運営協議会とも連携しつつ、多様な事業をこれからも展開していく。**

一方で、授業が分かると回答した児童生徒の割合は、前年度から微減となった。学校教育の現場では、授業を分かち合えるような工夫を様々に凝らしている。教育委員会としては、学校によるそうした工夫を丁寧に観察し、持ち寄って共有し、それをサポートするような手立てを講じるなど、現場発のことに立脚しつつ、指標の改善に繋げていく必要がある。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	教育委員会と学校との強い連携関係を基軸に、新規事業をきめ細やかに展開するなどして、多様化・深化する学校教育の流れをしっかりと掴めているため。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・異常気象による屋外活動制限やプール老朽化等を踏まえ、水泳指導を試行的に外部委託し、持続可能な水泳の授業を模索する。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向け、新たに体験型英語学習施設を利用するなど体験的活動を充実させる。また、海の移動教室のあり方を見直し、新たな計画で実施する。 ・新型コロナウイルス感染症の経験で学んだ学校教育のあり方について、教育行政に係る最新トピックを収集しながら、次期「明日の小金井教育プラン」策定に向けた準備を始める。
------------	--

施策16 学校環境の整備

【Plan】

目指す姿	安全で安心な学習環境の整備・充実に取り組むことで、児童・生徒が学習に集中することができ、豊かな学びと育ちを支える学校環境があるまち		
主担当課	庶務課	関連課	学務課、指導室
関連計画	第3次明日の小金井教育プラン、学校施設長寿命化計画		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【庶務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小金井第一小学校校舎改築等設計委託、東小学校増築校舎等賃借、緑小学校校舎増築等実施設計委託に着手 ・小中学校トイレにおける洋便器化等の改修工事を実施 <p>【学務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ネットワーク構築委託事業を実施 ・屋内運動場エアコン賃借事業を継続 ・通学路防犯カメラ管理事業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校トイレの洋式化率の更なる向上に取り組んで行く必要がある。 ・児童生徒数及び学級数の動向を引き続き注視し、必要となる施設整備を行っていく必要がある。 ・学校ネットワークについては、児童生徒数が増大しており、通信量、必要環境が毎年増大している。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 子どもが義務教育を受ける環境として学校施設が充実していると思う市民の割合（アンケート）	36.4%	60.0%	46.1%	38.7%	42.0%		
2 学校施設の長寿命化計画の達成率	—	11.0%	—	—	—		
3 週1回以上授業でICT機器を使用した児童・生徒の割合	30.6%	100.0%	54.2%	87.5%	84.6%		

<p>総括・自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法改正による小学校学級編制標準の引き下げを受け、小学校の児童数・学級数の推計を行い、大規模校化が顕著となる小学校の増築等設計委託業務に着手するなど、児童数・学級数の増加対応と長寿命化計画に基づく施設の老朽化対策を適切に進めている。東小学校増築校舎等賃借において令和6年3月に東小学校の増築校舎棟が完成し、令和6年4月より供用を開始している。 ・小中学校7校においてトイレの洋便器化等改修工事を行い、令和5年度末の小中学校トイレ洋式化率を約73%とし、小中学校のトイレ環境を向上させた。

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	トイレ洋式化率の向上や東小学校増築校舎の完成など、学校環境整備の推進により、目指す姿の実現に向け一定の成果を上げたと評価した。
-------	--------------	----	---

【Action】

<p>次年度の施策の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校トイレの洋式化率80%を目指して、洋便器化に引き続き取り組んでいく。 ・児童生徒数及び学級数の増加に伴う校舎増築の検討や、普通教室を確保するための改修工事を適切に行っていく。 ・令和2年度に策定した「学校施設長寿命化計画」について文部科学省の指針や市の計画を踏まえ、より実効性のある計画へとするため改定業務に着手する。 ・小中学校のネットワーク及びエアコンについては、現行設備を維持・拡充し、更なる環境改善を実施する。

施策17 芸術文化の振興

【Plan】

目指す姿	日常の中で芸術文化の鑑賞や体験の機会を得て、一人ひとりが個々の感性で芸術文化を主体的に楽しみ、心豊かに暮らしていけるまち		
主担当課	コミュニティ文化課	関連課	
関連計画	第2次芸術文化振興計画		

【Do】

令和5年度の主な取組
<p>■芸術文化振興計画推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民主体のワークショップの開催 「高齢者のためのはじめての映像制作会」、「0,1歳のための初めての芸術文化体験連続講座」、「多様な視点に気づき、表現につなげるワークショップ」 ■市民交流センター ・近隣大学や市図書館との協働企画を実施する等 <p>新たな試みも実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ■はけの森美術館 ・展覧会の開催 「海と画家との説話性—海をめぐる中村研一の物語—」、「笹川治子(中村研一作品とともに)届けられた色」、「うろうおうアジア—近代アジアの芸術、その多様性—」 ・その他、関連ワークショップ、ギャラリーコンサートを実施 ・はけの森美術館附属喫茶棟の再開

課題
<p>■施策全体の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化は成果評価指標を定めることが難しい分野であるが、第2次芸術文化振興計画（前期）の評価に向けて、成果評価指標等を検討する。 ・令和6年3月24日にプレオープンしたはけの森美術館附属喫茶棟「はけの森、コマグラ」の周知。 ・公立文化施設の老朽化に伴う修繕を進める必要がある。 <p>■事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国登録有形文化財である茶室「花侵庵」の活用を検討する。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 直近1年間で芸術文化の鑑賞や体験の機会を得たことがある市民の割合（アンケート）	48.6%	55.0%	35.2%	44.0%	49.5%		
2 芸術文化振興計画の達成率	—	80.0%	50.0%	53.0%	56.0%		

総括・自己評価

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されたことに伴い、令和5年度は各事業の参加者もコロナ禍前に戻ってきた印象を受ける。また、**はけの森美術館附属喫茶棟も新しく事業者を迎え「はけの森、コマグラ」をオープンすることができた。**一歩一歩ではあるが、確実に前進を感じた一年となった。令和4・5年度市町村立美術館活性化事業助成金を活用した4市連携でのうろうおうアジア展を2か年かけて準備した。令和5年度に開催し、普段見られないアジア各地の美術を身近で見られたと好評であった。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	昨年度の課題としていた、はけの森美術館附属喫茶棟の再開し、指標の数値が伸びているため一定の成果を上げた」と評価した。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性

芸術文化振興計画推進委員会で事業の評価方法について検討を進める。**旧中村研一郎茶室「花侵庵」の国登録有形文化財5周年の年でもあるので、新しくオープンしたはけの森美術館附属喫茶棟と連携しながらその魅力の発信に努めたい。**

施策18 国際交流・都市間交流の推進

【Plan】

目指す姿	国際交流事業や、友好都市三宅村を始めとした他自治体との交流を通じて、多文化共生社会への理解を深めるとともに、交流の輪を広げていくまち		
主担当課	コミュニティ文化課	関連課	
関連計画			

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>■国際交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの実施 「防災語学講座」、「国際理解講座」、「うどん打ち体験会&懇親会」、「第11回日本語スピーチコンテスト」、「<u>国際交流ミニ運動会</u>」 <p>■他自治体との交流</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染防止のため休止していた「青少年自然・文化体験交流事業in三宅」を3年ぶりに再開</p>	<p>■国際交流事業・他自治体との交流</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されたことに伴い、休止していた事業を再開しているが、各関係団体の体制も変わっており、それぞれのイベント内容を再検討し、多様な交流の機会をつくる必要がある。</p>

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 直近1年間で異文化に触れる機会が増えたと思う市民の割合（アンケート）	11.2%	20.0%	11.1%	13.4%	15.9%		
2 交流事業参加人数	285人	310人	30人	90人	177人		

<p>総括・自己評価</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されたことに伴い、休止していた各事業も再開。<u>これまでと同じく、市民団体に協力をいただきながら実施することができた。</u>以前実施していた「こども国際交流フットサル大会」を「国際交流ミニ運動会」とし、より多様な市民が参加できるように工夫した。<u>また、「青少年自然・文化体験交流事業in三宅」の様子を課のXを使って発信する等、SNS等でのイベント情報の発信に努めた。</u></p> <p>令和5年度の交流事業参加人数は増加しており、それぞれの指標に対して達成度は至っていないものの、令和4年度実績と比較すれば、一定の成果は伺える。</p>

<p>評価</p> <p>達成度合い</p> <p>一定の成果が上がっている</p>	理由	<p>新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されたことに伴い、多くの事業の再開に至った。また、一部事業の実施内容を大きく改変したこともあり、参加人数が増加したため。</p>
---	----	---

<p>長期計画審議会コメント</p> <p></p>

【Action】

<p>次年度の施策の方向性</p> <p>国際交流について、休止していた事業の再開に伴い、各事業ごとの関係団体の体制も変わっており、新たなイベントの在り方を模索し、さらなる異文化体験につながる多様な機会を作ることを目指す。</p> <p>他自治体との交流について、令和5年度より再開した青少年自然・文化体験交流事業in三宅にて内容の精査を行い、参加者により充実した体験を提供する。また、小金井三宅島友好協会と連携し、今後の親交の育みについて検討する。</p>
--

施策19 人権・平和・男女共同参画の尊重

【Plan】

目指す姿	人権や平和に対する意識や、男女が互いに認め支え合う意識を高め、誰もが個人として尊重され平等に暮らせる、一人ひとりが輝いて生きることができるまち		
主担当課	企画政策課（男女）	関連課	広報秘書課
関連計画	第6次男女共同参画行動計画		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【人権】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権講座（参加者数102人） ・職員向け人権研修（参加者数38人） ・その他（人権身の上相談、人権パネル展等） <p>【平和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非核平和映画会（参加者数79人） ・小金井平和の日記念行事（参加者数99人） ・その他（原爆写真パネル展、非核横断幕掲出等） <p>【男女共同参画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第37回こがねいパレットの開催（参加者21人） ・情報誌「かたらい」第58号・第59号の発行 ・女性総合相談事業の実施（相談件数149件） ・再就職準備セミナーの開催（参加者数16人） ・DV防止普及啓発パネル展の開催 ・性の多様性への理解促進講座の実施（参加者数13人） ・性の多様性への理解促進パネル展の開催 <p>・若年層セクシャル・マイノリティ支援事業の実施</p>	<p>【人権・平和】</p> <p>人権や平和に対する意識の啓発としては、イベント等の実施が主となるため、時代に即した形で継続した取組が必要である。</p> <p>【男女共同参画】</p> <p>男女が互いに認め支え合う意識の啓発としては、イベントや研修の実施、広報物による情報発信等を通じた継続的な取組が求められるが、近年参加者数は伸び悩んでいる。</p>

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 人権・平和が尊重されていると感じる市民の割合（アンケート）	37.9%	45.0%	43.5%	41.9%	42.0%		
2 日常生活において男女が平等であると感じる市民の割合（アンケート）	36.6%	40.0%	36.4%	36.8%	37.1%		
3 人権・平和のイベント参加率	66.3%	75.0%	68.6%	68.4%	62.2%		
4 男女共同参画行動計画の達成率	—	80.0%	83.8%	99.3%	99.3%		

総括・自己評価

<p>【人権・平和】</p> <p>人権・平和意識啓発について、令和5年度は人権講座を2年ぶりに開催した（令和3年度参加者数66人）。例年のイベントは新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されたことに伴い規模を戻して実施することができた（定員100→150人）。定員数の増により参加率は減となったものの実質的な参加者数は増となり、人権・平和意識の啓発に繋がった。</p> <p>【男女共同参画】</p> <p>男女共同参画行動計画の達成率としては、前年度並みを維持した事業が多かったため、昨年度同等の高水準で推進できた。また、令和4年度途中より若年層セクシャル・マイノリティ支援事業を多摩地域の複数の自治体と共に開始。若年層のセクシャル・マイノリティ当事者の居場所事業や市内小・中学校に向けて多様な性の理解促進に向けた授業や教員研修への講師派遣を行ったほか、令和5年度からは新たに東京レインボープライドへのブース出店を行い更なる事業周知を行った。本事業により、児童・生徒を含む若年層に対して多様な性への理解促進が図れた。</p>

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	各指標について前年度と比べ改善項目が増え、目指す姿の実現に向けた一定の成果を上げたと評価した。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

--

【Action】

<p>次年度の施策の方向性</p> <p>目指す姿に向けて、引き続き事業や啓発活動に取り組んでいく。</p>
--

施策20 生涯学習の振興

【Plan】

目指す姿	誰もが生涯を通じて学ぶことができる環境や機会を持ち、人生100年時代に向けて、地域コミュニティとのつながりをいかし自己実現と地域貢献ができるまち		
主担当課	生涯学習課	関連課	図書館、公民館
関連計画	第4次生涯学習推進計画 第3次明日の小金井教育プラン		

【Do】

令和5年度の主な取組
<p>【全市的な生涯学習活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い年齢層に対して、各種講座やイベントを開催した。(図書館・公民館) 緑センターの委託化に係る図書館協議会・公民館運営審議会の答申を踏まえ適切な受託者を選定し契約した。(図書館・公民館) 講座管理システムを活用し、より多くの受講者の獲得に繋がった。(公民館) <p>【生涯学習を通じた地域づくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働本部を市内小中学校の13校に設置し、地域学校協働活動を推進した。(生涯学習課) <p>【幅広い郷土意識の喚起】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内小学校への出前授業や国分寺市と共催での史跡めぐり等を実施した。(生涯学習課) <p>・「名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年」で市民団体と連携し普及啓発を強化した。(生涯学習課)</p>

課題
<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習関連施設が全体的に老朽化しており、利用者の安全性、利便性等を考慮して適切な維持管理が求められる。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 直近1年間で生涯学習を実践したことがある市民の割合(アンケート)	31.2%	40.0%	29.4%	36.4%	40.7%		
2 生涯学習推進計画の達成率	—	80.0%	66.7%	77.8%	66.7%		

総括・自己評価
<p>指標1の割合は上昇した。令和5年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に変更され、各種講座やイベントも通常通りで開催できたので、生涯学習に触れる市民の方が増えたと考えられる。</p> <p>指標2は第4次小金井市生涯学習推進計画の「計画の進捗を把握するための指標」の数値を前年度と比較して算出している。各事業とも工夫を凝らして実施し全体としては生涯学習の推進について一定の成果があげられたと考える。</p> <p>「名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、市民団体と協力し啓発グッズや記念動画の作成、東日本大震災の被災地への小金井桜と同様のルーツを持つヤマザクラ苗木の寄贈などの取組を行った。引き続き関係団体と協力し、同事業の普及啓発に努める。</p>

達成度合い	理由
一定の成果が上がっている	指標1は目標値を達成した。指標2については昨年度よりポイントが減少したが、各分野で多様な事業を実施し、目指す姿に向けた一定の成果が上がっていると判断したためこの評価とした。

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 学校と地域、地域で活動している社会教育団体や市内の大学等の教育機関がつながる仕組みを構築し、市全体の生涯学習の活性化を図る。 アフターコロナにおける生涯学習のあり方について、関係機関や団体等から幅広く情報を収集し、次期「生涯学習推進計画」策定に向けた準備を始める。

施策21 スポーツの振興

【Plan】

目指す姿	「豊かな生涯をスポーツとともに」を基本理念に、スポーツに気軽に親しむことができる環境や機会があり、誰もが楽しく元気に、仲間づくりを通して、生活の豊かさが向上されていくまち		
主担当課	生涯学習課	関連課	
関連計画	第2次小金井スポーツ推進計画、第4次生涯学習推進計画、社会教育関係施設個別施設計画等		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【生涯学習課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進審議会の運営 ・学校部活動地域連携に関する検討委員会の設置、運営 ・市民体育祭、シニアスポーツフェスティバル、スポーツフェスティバル等の実施 ・野村不動産ライフ&スポーツ株式会社（メガロス武蔵小金井）との連携協定に基づき、市内プロバスケットチームとの協働で小中学生を対象としたバスケット教室（3×3）を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・上水公園運動施設・小金井市テニスコート場の管理棟は社会教育関係施設個別施設計画で維持管理計画の対象施設となっているが、グラウンドやテニスコート場といった屋外スポーツ施設の適正な維持管理計画がないこと。 ・スポーツを行うための様々な体育用品・設備・備品の入替・修繕計画がないこと。 ・市内には運動施設が少なく、市民が日常的にスポーツに親しむことが難しい側面がある。このため、民間スポーツ施設との連携を拡充していきたい。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 週に1回以上スポーツを実施している市民の割合（アンケート）	52.6%	65.0%	54.5%	63.2%	52.1%		
2 市スポーツ施設の利用者数	536,458人	600,000人	299,112人	350,410人	394,665人		

<p>総括・自己評価</p> <p>指標1については、当初値を下回る結果となり、これまで以上に運動・スポーツへの関心の喚起等を行いながら取組を継続する。</p> <p>※R4実績はスポーツ振興係独自のアンケート調査結果で週に1日以上運動・スポーツを実施している方の割合を記入。16歳以上の市民を対象とし、スポーツに関するアンケートとして調査したため関心の高い方からの回答が多かったことから数値が高くなったと考えられる。</p> <p>指標2については、過去数年間、感染症の拡大防止のための利用制限および大規模修繕工事のための休館があったが、令和5年度の利用者数は増加傾向にある。今後も適切な維持管理を行いながら多くの市民の利用に供することができるよう努めていく。</p> <p>また、総合学院テクノスカレッジとの連携協定に基づく体育館開放事業について、感染症拡大防止のため数年間中止していたが再開した。併せて野村不動産ライフ&スポーツ株式会社（メガロス武蔵小金井）との連携協定に基づき、市内3人制プロバスケットボールチームとの協働で小中学生を対象としたバスケット教室（3×3）を開催した。引き続き市内の大学、民間スポーツ施設等との連携・協力により多くの市民がスポーツに親しめるようスポーツ環境の充実に努める。</p>
--

<p>評価</p> <p>達成度合い 一定の成果が上がっている</p> <p>理由 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更され、スポーツ施設の利用者数は回復傾向であり、一定の成果が上がっているものと判断したためこの評価とした。</p>

<p>長期計画審議会コメント</p>

【Action】

<p>次年度の施策の方向性</p> <p>令和5年3月に策定した第2次小金井市スポーツ推進計画に掲げた基本理念の実現に向け、誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進、運動・スポーツを通じた健康づくり等に取り組んでいく。また、総合体育館、栗山公園健康運動センターについては、指定管理者との連携により既存事業の充実に努め、その他の施設についても適切な運営体制を維持しながら利用しやすいスポーツ環境の拡充に努めていく。</p>
--

施策22 福祉のまちづくりの推進

【Plan】

目指す姿	福祉における制度の枠組みを超え、地域の高齢者、障がいのある人、子どもなど全ての人々が支え合う体制・環境を実現することで、互いに助け合いながら安全・安心な生活を送ることができるまち		
主担当課	地域福祉課	関連課	介護福祉課、自立生活支援課
関連計画	第2期保健福祉総合計画		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【地域福祉課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉総合相談窓口事業を実施 第3期保健福祉総合計画の策定（市民説明会及びパブリックコメントを実施） 	<p>■施策全体の課題／事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な主体との連携づくり、地域での包括的な支援体制づくりが不十分である。 地域福祉の担い手育成及び活動継続への支援が不十分である。 市民後見人の養成及び後見人支援が不十分である。 居場所づくりに向けた支援が不十分である。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 困った時に地域で助け合える関係性を持っている市民の割合（アンケート）	46.1%	80.0%	42.7%	44.3%	42.8%		
2 地域福祉計画の達成率	40.0%	80.0%	50.0%	53.3%	66.7%		

総括・自己評価
<p>指標1については、地域コミュニティの希薄化、孤独・孤立化の課題に対して、地域福祉の担い手育成、相談窓口の充実等の施策を実施することで、地域での課題解決の体制づくりが着実に推進されている。また、包括的支援体制の構築のための新たな取組として重層的支援体制整備事業の実施に向けた検討を進めた。今後は、世代や属性を超えた交流の場や居場所を整備する地域づくりの充実が必要である。</p> <p>指標2については、福祉総合相談窓口の整備、相談支援体制の充実から評価を行い、体制充実に伴い包括化推進員の計画的配置を行っていることから概ね計画どおり推移している。また、その他の事業においても、概ね良好に推移している。</p>

評価		
達成度合い	一定の成果が上がっている	理由 地域福祉計画にある41の事業において、「ほぼ施策内容を達成した」、「施策内容をある程度達成した」との評価が大半を占めることからこの評価とした。
長期計画審議会コメント		

【Action】

次年度の施策の方向性
<p>令和5年度に策定した第3期保健福祉総合計画（地域福祉計画）に基づき、重層的支援体制の整備等、新たな施策を総合的・計画的に推進する。</p> <p>DX活用については、国・都の動向及び市の方針を踏まえつつ研究していく。</p>

施策23 高齢者の生きがいの充実

【Plan】

目指す姿	高齢者の地域での社会参加を促進することで、生きがいを持ち続け、安心して暮らせるまち		
主担当課	介護福祉課	関連課	経済課
関連計画	第8期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【介護福祉課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護支援ボランティアポイント事業を実施 小金井シルバー人材センター補助事業を実施 小金井さくら体操の推進 地域の居場所（認知症カフェ含む）に対する支援 高齢者のデジタルデバйд解消（ICTの普及啓発）のための事業を実施 <p>【経済課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者農園事業を実施 	<p>【介護福祉課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大後、社会参加及びボランティアの活動量の減少が続く、以前の水準に戻っていない。 <p>【経済課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民農園の主な利用年代層と重複している。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 直近1年間で社会活動・ボランティア活動に参加したことがある高齢者の割合（アンケート）	29.9%	35.0%	24.9%	22.6%	24.1%		
2 介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画の達成率	—	80.0%	89.7%	97.1%	100.0%		

総括・自己評価

指標1については、新型コロナウイルス感染症に配慮した取組や、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されたことにより、活動量については回復傾向にある。活動再開を促すため、例えばボランティアポイント事業では、登録者への通知や受入れ事業所へ受入れ再開の依頼などを継続的に実施し、活動量を増加させることができた。

新型コロナウイルス感染症による変化として、ICT、特にスマートフォンを活用した社会参加への関心が高まっているため、高齢者向けスマホ講座等を実施し、新しい社会参加のあり方を模索している。

また、高齢者の社会参加について男性の参加割合が低いため、生活支援事業協議体の中で継続的に議題として扱い、その検討結果から高齢者の居場所をまとめた冊子に男女比を入れるなど、男性の参加を促す工夫を実施している。

指標2については、前年度に新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった事業についても、感染症対策を行った上で再開したほか、他事業についても概ね計画に沿って事業を実施することができた。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	活動量は目標値に達していないものの、アンケート等を通じて登録者の活動意欲を保つことができていると考えられるため。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

<p>次年度の施策の方向性</p> <p>引き続き、介護予防や地域の居場所、ICTなど高齢者のニーズに応じた社会参加の機会促進に向けて取り組んでいく。</p> <p>指標の目標達成に向けて、第9期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画に基づき、取り組んでいく。</p>
--

施策24 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実

【Plan】

目指す姿	医療や介護の専門職だけではなく市民主体の生活支援の取組なども支援することで、高齢者が住み慣れた場所で自立した生活が続けられ、いつまでも自分らしく暮らすことができるまち		
主担当課	介護福祉課	関連課	地域福祉課、保険年金課、健康課
関連計画	第8期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【介護福祉課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の推進（介護予防講座・教室等の実施、総合事業における短期集中サービスの実施、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向けた検討 等） ・在宅生活支援の充実（地域包括支援センターの機能強化、介護者の負担軽減の推進 等） ・認知症施策の推進（認知症の理解促進（認知症サポーターの養成）、早期診断・早期対応の充実、居場所（認知症カフェ等）づくり 等） ・在宅医療と介護の連携の推進（同推進に係る検討会議及び同会議内の4部会の実施、同連携及びACPに関する普及啓発活動の実施 等） ・生活支援体制整備の推進（地域ケア会議の実施、地域の居場所に対する支援の実施 等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの事業にも個別の課題はあるが、総じて普及啓発を通じて、市民に正しい理解を促すこと。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 高齢者が暮らしやすい地域であると思う市民の割合（アンケート）	41.2%	50.0%	50.5%	45.7%	44.0%		
2 認知症サポーター養成者数	6,751人	8,850人	7,824人	8,626人	9,288人		

総括・自己評価

指標1については、事業自体は多岐にわたるものの、介護保険運営協議会、認知症施策事業推進委員会、在宅医療・介護連携推進会議等で各事業の進捗等を報告し、目標管理を行っている。成果としても着実に目標に向かっており、施策全体の目指す姿に向けて近づけていると考えている。

家族支援に関して、家族会や介護教室等を実施するとともに、相談の中心機関である地域包括支援センターの周知や機能強化を図り、介護者の孤立防止や、負担軽減に努めている。

指標2については、地域包括支援センターと連携し、小・中学校等の協力も得ながら、多世代に対して認知症サポーター養成講座の周知と実施を行った。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	指標1は前年度を下回っているものの、着実に目標に向かっており、指標2は目標に達し、施策全体の目指す姿に向けて成果が上がっているため。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

<p>次年度の施策の方向性</p> <p>指標の目標達成に向けて、第9期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画に基づき、引き続き取り組んでいく。</p>
--

施策25 障がい者福祉の充実

【Plan】

目指す姿	障がい者の生活・就労支援、地域における交流の場を設けることへの支援を通じ、障がいのある人もない人もそれぞれが尊厳ある一人の市民として自立し、住み慣れた地域で共に支え合うことにより、生涯安心して暮らしていけるまち		
主担当課	自立生活支援課	関連課	地域福祉課、介護福祉課、健康課、子育て支援課、保育課、児童青少年課、指導室、まちづくり推進課
関連計画	障害者計画、第6期障害福祉計画		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【自立生活支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画を策定 小金井市医療的ケア児コーディネーターを配置 日中活動系サービス推進事業補助金の見直しを実施 地域生活支援拠点等整備事業の推進 <p>【児童青少年課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学童保育所での障がい児保育を実施 	<p>【自立生活支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、共生社会実現に向け市民へ幅広く普及啓発するための方策の検討が必要。 <p>【児童青少年課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア児の受け入れに関し、看護師などの医療職の基本配置がない（業務委託で対応）。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 障がいのある人もない人も共に暮らしやすい地域であると思う市民の割合（アンケート）	29.0%	55.0%	33.6%	29.1%	31.8%		
2 障害福祉計画の達成率	—	80.0%	55.3%	50.0%	52.0%		

総括・自己評価

指標1については、アンケート指標の数字が上がっていることから、事業の成果が一定程度市民に理解されたと考えられる。しかし、障害福祉サービスのネットワーク作りや虐待及び差別対応に係る事務処理要領の整理などの課題が残ることから、引き続き、事業を推進していく。

指標2については、第6期障害福祉計画の最終年度であり、計画値も伸びているなかで達成できた項目が増えたことは、サービス利用に結びついた結果による増加と捉えることができるので、引き続き、相談支援事業所と協力して実施していきたい。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	地域生活支援拠点等整備が5つの機能を登録できたことや、医療的ケア児コーディネーターを配置できたことで一定の成果はあるとして、この評価とした。
-------	--------------	----	--

【Action】

次年度の施策の方向性

- 令和6年3月に策定した障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画に基づき、障がい者福祉の充実に取り組んでいく。また、限られた社会資源を有効に使えるように事業所との連携を更に強化する。
- 医療的ケア児コーディネーターの配置により対象児の把握に努めるとともに、関係機関による協議の充実に努める。**
- 地域生活支援拠点等事業については、令和5年度までに整備した5つの機能を有効に活用するために、拠点コーディネーターの配置に向けた検討を進める。**

政策 福祉と健康

施策26 健康の維持・増進

【Plan】

目指す姿	生活習慣病と健康づくりに関する正しい情報の普及と共有や、医療体制を強化することにより、私たちが生涯を通じて健康的で質の高い生活を送ることができるまち		
主担当課	健康課	関連課	保険年金課
関連計画	健康増進計画・国民健康保険データヘルス計画・国民健康保険特定健康診査等実施計画・東京都後期高齢者医療広域連合高齢者保健事業実施計画		

【Do】

令和5年度の主な取組	
【健康課】	<ul style="list-style-type: none"> 第3次健康増進計画の策定 第2次小金井市自殺対策計画の策定 帯状疱疹予防接種の費用助成 <p>(新型コロナウイルス感染症対策関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関等物価高騰対策支援給付金事業 新型コロナウイルスワクチン接種 小児インフルエンザ予防接種の費用助成 高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担無料化

課題
<ul style="list-style-type: none"> 食育への関心が低下傾向である。 指標3については、未受診者への動機づけが課題である。 がん検診の受診率が低く、受診率を向上させる必要がある。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 自身は健康であり、日常生活に支障はないと感じる市民の割合(アンケート)	75.8%	80.0%	82.1%	80.0%	73.5%		
2 食育の取組で、主食・主菜・副菜がそろっている栄養バランスの取れた食事に気を付けている市民の割合(アンケート)	80.8%	90.0%	78.5%	76.4%	76.8%		
3 定期的に地域・職場などの健康診断を受けている市民の割合(アンケート)	86.5%	90.0%	82.7%	82.1%	84.3%		

総括・自己評価

指標1については、指標実績が若干下降したものの、引き続き自身の健康増進を意識している市民は多いと分析される。従前どおりの取組を継続していくほか、令和6年度以降は各種健康増進事業をコロナ禍前と同様に戻し、参加人数等も前年度より増やすことで、より多くの市民に参加してもらい、健康寿命の延伸とともに健診の重要性についても周知・啓発をしていく。

指標2については、事業やイベントはほぼ復活し、令和5年6月より試食の再開も行った。SNS・紙媒体などを活用し、食育の重要性について啓発をしていく。

指標3については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う医療機関の受診控え等により、特に令和2年度は特定健診及び後期健診の受診率が減少したが、令和3年度以降受診率は回復傾向にある。健康意識や健康診査の受診率を向上させ、生活習慣病等を早い段階から予防し、健康で質の高い生活を送ることができるようにする。

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	指標の数値が伸びていないものの、目指す姿実現に向け一部の成果を上げたと評価した。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

一部健診(検診)については、コロナ禍において受診控えの傾向があったため、定期的に健診等を受診する重要性を周知・啓発し、受診しやすい仕組みを検討する。

令和5年度に策定した第3次健康増進計画、第2次小金井市自殺対策計画に基づき、各種事業を推進する。

施策27 市民参加・協働の推進

【Plan】

目指す姿	多様な市民の意思を市政に取り入れることで、私たちみんなの力で地域課題を解決するまち		
主担当課	企画政策課	関連課	コミュニティ文化課、広報秘書課
関連計画			

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者討議会を実施 <p>【コミュニティ文化課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働事業提案制度の見直し（行政提案型開始、2か年事業） ・令和5年度に採択された2事業（市民提案型「多文化共生に向けて・外国ルーツの子どもの教育支援」、行政提案型「小金井魅力発見！ 市歌『光さす野辺』 みんなで作ろうミュージックビデオ！」）を実施 ・職員向け協働理解促進研修を昨年度に引き続き実施 ・NPO法人連絡会と協働で「協働講演会」を実施 <p>【広報秘書課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の声（市長へのEメール、市長へのFAX、意見・要望カード、投書、電話等）（438件） ・市長への手紙（無作為抽出2,000人、回答者数530人、回答率26.5%） ・みんなのタウンミーティング（12回） ・町会長・自治会長連絡会（ブロック会4回） ・市報、ホームページ、わたしの便利帳に町会・自治会加入促進の記事を掲載 	<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者等サイレント層の市民参加 <p>【コミュニティ文化課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2か年の提案を実施するにあたり、選考過程や評価方法について、より分かりやすい制度改正 <p>【広報秘書課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会・自治会の加入率の低下

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 「地域課題の解決に向けて、市民もまちづくりに参加している」と思う市民の割合（アンケート）	21.0%	50.0%	22.1%	23.0%	19.8%		
2 直近1年間で地域活動に参加したことがある市民の割合（アンケート）	26.1%	50.0%	19.7%	21.7%	21.0%		

総括・自己評価

<p>【企画政策課】</p> <p>若者討議会の実施に際して、これまで市政にあまり関心がなかった方々でも活発な議論となるよう、過去の提言なども参考に、様々な工夫をした。参加者を対象に実施した若者討議会の事後のアンケートでは、ほとんどの方の満足度は高く、市政への興味・関心度、市民参加意欲などについて一定変化が見られた。</p> <p>【コミュニティ文化課】</p> <p>令和5年度に新規実施した行政提案型については、団体の特性を生かした事業計画が評価され2か年の継続事業を採択した。2年目の運営支援についての課題は令和6年度実施の参考とし、今後につなげていく。また、これまでの採択事業についても、一つ一つの事業の満足度は高く、協働に対する市と市民活動団体等の理解促進につながったと考えており、事業終了後に事業の振り返りを実施しているが、振り返りの際や事業実施中に得た改善点を研究し、協働事業提案制度の改正につなげていく。</p> <p>【広報秘書課】</p> <p>市報1面で町会・自治会の活動の紹介やホームページの掲載内容の見直しを行う等、活動を分かりやすく伝える工夫を行った。</p>

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	事業は適切に展開されているものの、昨年度に比べ指標は微減しており、更なる取組が求められるため。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

--

【Action】

<p>次年度の施策の方向性</p> <p>【企画政策課】</p> <p>若者討議会を実施して見えてきた課題を市民参加推進会議で整理し、幅広い世代における市民参加につながる方策を検討する。</p> <p>【コミュニティ文化課】</p> <p>各事業を通して、協働に対する市と市民活動団体等の理解促進を進めていく。</p> <p>【広報秘書課】</p> <p>町会・自治会との意見交換・課題把握に努めていくとともに、今までの手法にとらわれることなく、効果的な形で町会・自治会への加入促進を応援していく。</p>
--

施策28 積極的な情報発信

【Plan】

目指す姿	開かれた市政を実現し、私たちが暮らす小金井市の魅力を広く発信することで実現する、多くの人から選ばれる「住みやすい」「住み続けたい」「住んでみたい」まち		
主担当課	広報秘書課	関連課	企画政策課、情報システム課、総務課
関連計画			

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【広報秘書課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS等を活用した広報活動推進事業を実施 (令和5年12月よりLINE公式アカウントの運用を開始) ・ ホームページ運用事業を実施 ・ 市報編集・発行事業を実施 <p>【広報秘書課・企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シティプロモーション事業を実施 <p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イメージキャラクター広報活動事業を実施 <p>【情報システム課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンデータ公開推進事業を実施 <p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報保護制度についての研修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な情報を届けるために、積極的かつ効果的、効率的な情報発信を行うとともに、情報が多くの市民の方々に分かりやすく伝わるような工夫が求められている。 ・ シティプロモーション基本方針に基づき、市の魅力や特徴を内外に発信していくにあたり、どのようなビジョンを持って、どのように発信していくかを明確にしておく必要がある。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 市報やホームページなどで必要な行政情報が入手できていると感じる市民の割合(アンケート)	52.8%	65.0%	61.6%	58.7%	56.4%		
2 小金井市公式X(旧ツイッター)のフォロワー数	5,822人	7,569人	7,681人	7,989人	8,493人		

総括・自己評価

指標1については、アンケート指標は減少しているものの、新たに運用を開始したLINEを含め、様々な広報媒体で行政情報の発信を行っている。しかしながら、前年度と同様に市報及びホームページにおいて、新型コロナウイルス感染症についての膨大かつ複雑な情報提供により、必要な情報が入手しにくいと受け取られたことが要因であると分析している。指標2については、X(旧ツイッター)のフォロワー数は概ね良好に推移しており、市民の方にも市公式Xについて周知が進んだものと考えている。

また、市民が求めている行政情報を入手しやすいよう、市報・ホームページ・SNS等、対象や内容、状況に応じて、それぞれの発信ツールの特性を生かした情報発信が必要であると認識している。

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	シティプロモーションにおける明確なビジョンの検討等、引き続き課題があるものの、LINEの運用開始など、魅力を発信していく上で必要な情報発信は適切に行われているものと評価した。
-------	--------------	----	---

【Action】

次年度の施策の方向性

- ・ 既存の広報媒体の見直しの一環として、より幅広い世代にとって読みやすく、読みたくなるような内容とするため、令和6年8月1日号から市報をリニューアルする。
- ・ ホームページについては令和7年度のリニューアルに向け、関係課を交えた検討を進める。
- ・ 現行のシティプロモーションにおける課題等を踏まえて、今後の方向性等を引き続き検討していく。
- ・ LINEについては、より効果的、効率的に情報発信が可能なツールとして期待しており、友達登録者数を踏まえ、より良い運用方法を検討していく。

施策29 計画的な行財政運営

【Plan】

目指す姿	長期総合計画に基づく施策を着実に実施し、持続可能な行財政運営と市民サービスの維持・向上を実現するまち		
主担当課	企画政策課（行政経営担当）	関連課	企画政策課、庁舎建設担当、公共施設マネジメント推進担当、自治体DX推進担当、財政課、情報システム課、総務課、職員課、管財課
関連計画	行財政改革2025、公共施設等総合管理計画、自治体DX推進全体方針		

【Do】

令和5年度の主な取組	課題
<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画（令和5～7年度）の策定 <p>【企画政策課（行政経営担当）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年4月までの定員管理計画の策定 ・補助金等の見直し要領の策定 ・財政規律ガイドラインの策定 <p>【庁舎建設担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎等複合施設建設事業の実設計を再開 <p>【公共施設マネジメント推進担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PPP/PFI手法導入優先的検討指針の策定 <p>【自治体DX推進担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政手続オンライン化に向けた押印及び署名の見直し方針の策定 ・令和5年度デジタルチャレンジの実施 ・生成AI実証事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の課題や成果等を踏まえた施策の新陳代謝。 ・次期行財政改革の指針の策定。 ・制度や組織を改革する公民連携のさらなる推進。 ・庁内全体のDX推進に対する認識の統一。 ・内部業務用のインフラ整備に沿った、職員のマインド変革。 ・財政調整基金の取崩しに依存しない、持続可能な財政基盤の強化と弾力化の更なる推進。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 行財政運営に対する満足度（アンケート）	18.6%	25.0%	25.4%	19.6%	19.3%		
2 前期基本計画の達成率	—	80.0%	15.4%	15.2%	19.7%		
3 （仮称）行財政改革2025の達成率	—	80.0%	行革2025策定中	60.0%	60.0%		

総括・自己評価

・施策評価については、PDCAマネジメントサイクルによる継続的な検証により、課題や改善点を見出し、第三者の視点で点検・検証することで、評価内容の客観性及び信頼性を確保している。また、DX推進におけるアクションプランについて、半年ごとに見直しを行っているほか、策定された計画・方針の点検に伴い、内容の見直しが必要な場合は、随時取組に反映している。

・行財政改革2025の考えに基づく定員管理計画を策定し、人材の削減を前提とせず重点取組等へ戦略的に投入する等時代に即した体制を整える環境整備ができた。

・PPP/PFI手法導入優先的検討指針を策定し、本市における庁内ルール等を定めることができた。

・DX推進全体方針に基づき、市民目線では、国優先27手続の7割のオンライン化実現、LINE公式アカウントの実装など、DX推進に向けた歩みを一歩進めることができた。また、内部業務の効率化では、庁内インフラの整備と共に、デジタルチャレンジ、マインドアップ研修など、庁内全体における行動変容を促す手段を実行し、部署により隔たりがあるものの概ね順調に推進している。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	引き続き計画に沿って更なる推進を要するが、各課題において着実に前進がみられるため。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・前期基本計画及び施策評価結果を踏まえ、令和8年度を初年度とする後期基本計画の策定に着手する。 ・引き続き行財政改革2025及びDX推進全体方針に基づき、窓口DXの推進、業務におけるデジタル技術の活用推進等、DX推進に直結する手段を実行し、限られた経営資源の最適化により企画立案業務や市民対応に一定注力するなど、行政サービスの質の維持・向上を目指す。 ・公共施設等総合管理計画に基づき適切な配置・維持管理を図るとともに、需要の変化に的確に対応するため、施設の在り方等の検討を行う。

担当課一覧（施策）

政策分野	施策	主担当課	関連課
環境と都市基盤	1 みどりとの環境整備	環境政策課	農業委員会事務局、都市計画課、道路管理課、まちづくり推進課
	2 循環型社会の形成	ごみ対策課	
	3 環境保全の推進	環境政策課	
	4 市街地の整備	都市計画課	まちづくり推進課、道路管理課、区画整理課
	5 住環境の整備	まちづくり推進課	環境政策課、都市計画課、経済課、地域安全課、庶務課、道路管理課、交通対策課、介護福祉課、自立生活支援課、下水道課
	6 都市インフラの整備	道路管理課	都市計画課、下水道課
	7 交通環境の整備	交通対策課	まちづくり推進課、区画整理課
地域と経済	8 危機管理体制の構築	地域安全課	介護福祉課、指導室、まちづくり推進課、地域福祉課、健康課
	9 地域の安全・安心の向上	地域安全課	経済課、資産税課、環境政策課、ごみ対策課、健康課、まちづくり推進課、道路管理課、交通対策課
	10 産業・観光の振興	経済課	まちづくり推進課、区画整理課、自立生活支援課、高齢福祉担当、男女共同参画室、子育て支援課、地域福祉課
	11 都市農業の振興	経済課	農業委員会事務局、環境政策課、都市計画課、まちづくり推進課、介護福祉課
子どもと教育	12 子どもの育ちの支援	児童青少年課	生涯学習課、コミュニティ文化課、環境政策課、指導室、子ども家庭支援センター、子育て支援課、企画政策課
	13 子育て家庭の支援	子育て支援課	保育課、児童青少年課、自立生活支援課、健康課、指導室
	14 子育て・育ち環境の充実	子育て支援課	保育課、児童青少年課、コミュニティ文化課、指導室、生涯学習課、公民館
	15 学校教育の充実	指導室	学務課
	16 学校環境の整備	庶務課	学務課、指導室
文化と生涯学習	17 芸術文化の振興	コミュニティ文化課	
	18 国際交流・都市間交流の推進	コミュニティ文化課	
	19 人権・平和・男女共同参画の尊重	企画政策課（男女）	広報秘書課
	20 生涯学習の振興	生涯学習課	図書館、公民館
	21 スポーツの振興	生涯学習課	
福祉と健康	22 福祉のまちづくりの推進	地域福祉課	介護福祉課、自立生活支援課
	23 高齢者の生きがいの充実	介護福祉課	経済課
	24 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実	介護福祉課	地域福祉課、保険年金課、健康課
	25 障がい者福祉の充実	自立生活支援課	地域福祉課、介護福祉課、健康課、子育て支援課、保育課、児童青少年課、指導室、まちづくり推進課
	26 健康の維持・増進	健康課	保険年金課
行政運営	27 市民参加・協働の推進	企画政策課	コミュニティ文化課、広報秘書課
	28 積極的な情報発信	広報秘書課	企画政策課、情報システム課、総務課
	29 計画的な財政運営	企画政策課（行政経営担当）	企画政策課、庁舎建設担当、公共施設マネジメント推進担当、自治体DX推進担当、財政課、情報システム課、総務課、職員課、管財課

関連計画一覧

政策分野	施策	関連計画	URL (※)
環境と都市基盤	1 みどりと水の環境整備	環境基本計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/473/kankyokeikaku/kankyokihonkeikaku/3kankyokihonkeikaku.html
		みどりの基本計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/479/keikakuhousin/green_masterplan2021.html
		農業振興計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/nogyo/nougvoushinkou/nougvousin_sakutei.html
		都市計画マスタープラン	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakukeikaku/machitoshi/machizukuri/toshiseibi/index.html
		住宅マスタープラン	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakukeikaku/machitoshi/iutaku_shien/masterplan/zvumasuR4.html
	2 循環型社会の形成	一般廃棄物処理基本計画	http://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/446/keikaku/D0402010202204061524.html
	3 環境保全の推進	環境基本計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/473/kankyokeikaku/kankyokihonkeikaku/3kankyokihonkeikaku.html
		地球温暖化対策地域推進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/473/kankyokeikaku/ondankakeikaku/D0401010202103251059.html
	4 市街地の整備	都市計画マスタープラン	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakukeikaku/machitoshi/machizukuri/toshiseibi/index.html
	5 住環境の整備	住宅マスタープラン	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakukeikaku/machitoshi/iutaku_shien/masterplan/zvumasuR4.html
		耐震改修促進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakukeikaku/machitoshi/iutaku_shien/taisihinkeikaku.html
		下水道総合計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/478/sougoukeikakusakutei.html
	6 都市インフラの整備	無電柱化推進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/482/doro/D06020302019.html
		橋りょう長寿命化計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/482/doro/20160608.html
都市計画マスタープラン		https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakukeikaku/machitoshi/machizukuri/toshiseibi/index.html	
下水道総合計画		https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/478/sougoukeikakusakutei.html	
7 交通環境の整備	交通安全計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/482/kotsuanzenundo/koutuanzenkeikaku.html	
	「C o C oパス」再編計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/482/buss/saihenkeikakugaido.html	
地域と経済	8 危機管理体制の構築	地域防災計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/472/bosai/keikaku/tiikibousaikaikaku.html
	9 地域の安全・安心の向上	—	—
	10 産業・観光の振興	産業振興プラン	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/sangyou_rousei/sanshinplan.html
	11 都市農業の振興	農業振興計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/nogyo/nougvoushinkou/nougvousin_sakutei.html
子どもと教育	12 子どもの育ちの支援	のびゆくこどもプラン 小金井	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakukeikaku/kosodate/kyoikuplan/D0801010202103311304.html
		第3次明日の小金井教育プラン	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakukeikaku/kosodate/nobiyuku/nobiyukukodomopuran4.html
	13 子育て家庭の支援	のびゆくこどもプラン 小金井	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakukeikaku/kosodate/nobiyuku/nobiyukukodomopuran4.html
	14 子育て・子育て環境の充実	のびゆくこどもプラン 小金井	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakukeikaku/kosodate/nobiyuku/nobiyukukodomopuran4.html
	15 学校教育の充実	第3次明日の小金井教育プラン	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakukeikaku/kosodate/kyoikuplan/D0801010202103311304.html
	16 学校環境の整備	第3次明日の小金井教育プラン 学校施設長寿命化計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kosodatekyoiku/gakkou-kyoiku/gakkousisetu/gakkoutyuiumyouka.html

関連計画一覧

政策分野	施策	関連計画	URL (※)
文化と生涯学習	17 芸術文化の振興	第2次芸術文化振興計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kankobunka/453/geijutubunkasinkou/dai2ijieibunkeikaku.html
	18 国際交流・都市間交流の推進	—	—
	19 人権・平和・男女共同参画の尊重	第6次男女共同参画行動計画	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/danjokyodosankaku/taisakusodan/danjokyodoikeikaku/dai6jikoudoukeikaku.html
	20 生涯学習の振興	第4次生涯学習推進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kosodatekyoiku/452/suishinkeikaku/dai4iisyougaikeikaku.html
	21 スポーツの振興	第3次明日の小金井教育プラン	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikaku/kosodate/kyoikuplan/D0801010202103311304.html
第2次小金井市スポーツ推進計画		https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikaku/kosodate/sportsplan202304.html	
第4次生涯学習推進計画		https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kosodatekyoiku/452/suishinkeikaku/dai4iisyougaikeikaku.html	
福祉と健康	22 福祉のまちづくりの推進	社会教育関係施設個別施設計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikaku/koukyosisetu/kobetsusisetsu/syakaikaku.html
		第2期保健福祉総合計画	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikaku/keikakuto.06/hokenfukusikeikaku/fukushisougou3.html
		第8期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kenkofukuhsi/koreishafukushi/K25/kaigokoureisougoukei/8kijiyoukeikaku.html
	23 高齢者の生きがいの充実	第8期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kenkofukuhsi/koreishafukushi/K25/kaigokoureisougoukei/8kijiyoukeikaku.html
		第8期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kenkofukuhsi/koreishafukushi/K25/kaigokoureisougoukei/8kijiyoukeikaku.html
	24 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実	障害者計画・第5期障害福祉計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kenkofukuhsi/shogaishafukushi/keikaku/syoubaihukusikeikaku.html
		第6期障害福祉計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kenkofukuhsi/shogaishafukushi/keikaku/syoubaihukusikeikaku.html
25 障がい者福祉の充実	健康増進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikaku/keikakuto.06/hokenfukusikeikaku/fukushisougou3.html	
	26 健康の維持・増進	国民健康保険データヘルス計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/427/hokenijyovu/dhijyovu.html
		国民健康保険特定健康診査等実施計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/427/hokenijyovu/tokuteikensin.html
		東京都後期高齢者医療広域連合高齢者保健事業実施計画	
行政運営	27 市民参加・協働の推進	—	—
	28 積極的な情報発信	—	—
	29 計画的な行政運営	行財政改革2025	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikaku/keikakuto.01/D01016012022090.html
公共施設等総合管理計画		https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikaku/koukyosisetu/souzoukanrikeikaku/D01010102020415101.html	

※ 改定後の計画が掲載されている場合があります。

担当委員一覧

グループ	政策分野	施策	担当委員	
第1グループ	環境と都市基盤	1	みどりと水の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田端委員 ・ 鈴木委員 ・ 須藤委員 ・ 福平委員 ・ 井寺委員 ・ 出戸委員 ・ 萬羽委員 以上7名
		2	循環型社会の形成	
		3	環境保全の推進	
		4	市街地の整備	
		5	住環境の整備	
		6	都市インフラの整備	
		7	交通環境の整備	
	地域と経済	8	危機管理体制の構築	
		9	地域の安全・安心の向上	
		10	産業・観光の振興	
		11	都市農業の振興	
行政運営	27	市民参加・協働の推進		
	28	積極的な情報発信		
	29	計画的な行財政運営		
第2グループ	子どもと教育	12	子どもの育ちの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高松委員 ・ 田中委員 ・ 天野委員 ・ 檜山委員 ・ 木場委員 ・ 小早川委員 ・ 浅野委員 ・ 渡邊委員 以上8名
		13	子育て家庭の支援	
		14	子育て・子育て環境の充実	
		15	学校教育の充実	
		16	学校環境の整備	
		文化と生涯学習	17	
	18		国際交流・都市間交流の推進	
	19		人権・平和・男女共同参画の尊重	
	20		生涯学習の振興	
	21		スポーツの振興	
	福祉と健康	22	福祉のまちづくりの推進	
		23	高齢者の生きがいの充実	
		24	高齢者が暮らし続ける仕組みの充実	
25		障がい者福祉の充実		
26		健康の維持・増進		